

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 21 年 1 月 22 日 (2009.1.22)

【公開番号】特開 2006-178944 (P2006-178944A)
 【公開日】平成 18 年 7 月 6 日 (2006.7.6)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-026
 【出願番号】特願 2005-348030 (P2005-348030)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 17/21 (2006.01)

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 17/21 5 7 0 R

G 0 6 F 12/00 5 1 3 A

G 0 6 F 17/21 5 7 0 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 20 年 11 月 27 日 (2008.11.27)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ワードプロセッシング・アプリケーションによって作成された文書を表すためのファイル・フォーマットであって、前記ファイル・フォーマットは、コンピューティング装置内に実装されたモジュラー・コンテンツ・フレームワークで文書を表し、前記ファイル・フォーマットは、

それぞれが、論理的には個別であるが、1 つまたは複数の関係性によって関連付けられた、複数のモジュラー・パーツを備え、

各モジュラー・パーツそれぞれは、1 つの関係性のタイプと関連付けられ、

前記モジュラー・パーツは、

文書のプロパティのガイドとして動作し、モジュラー・パーツである、文書パーツを含み、

各モジュラー・パーツは、他のモジュラー・パーツが問い合わせされずに個別に問い合わせられることができることを特徴とするファイル・フォーマット。

【請求項 2】

前記モジュラー・コンテンツ・フレームワークは、前記モジュラー・パーツに関連付けられたファイル・フォーマット・コンテナを含み、前記モジュラー・パーツは、

前記ファイル・フォーマットに関連付けられた組み込みプロパティを収容する文書プロパティ・パーツと、

前記ファイル・フォーマットに関連付けられたサムネイルを収容するサムネイル・パーツと

をさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載のファイル・フォーマット。

【請求項 3】

各モジュラー・パーツは、前記文書から抽出およびコピーしたパーツであることが可能であり、再利用されるモジュラー・パーツの関係性をトラバースすることによって識別された関連モジュラー・パーツとともに、異なる文書で再利用することができることを特徴とする請求項 1 に記載のファイル・フォーマット。

【請求項 4】

前記モジュラー・パーツは、
前記文書に関連付けられたコメントを含むコメント・パーツ、
前記文書に関連付けられた様々な単語の定義を含む用語集パーツ、および
前記文書のテキストに関連付けられたデータを含むチャンク・パーツ
のうちの少なくとも 1 つをさらに含むことを特徴とする請求項 3 に記載のファイル・フォーマット。

【請求項 5】

前記モジュラー・パーツは、前記文書に読み込み、変更することができるカスタマイズされたデータを含むユーザ・データ・パーツをさらに含むことを特徴とする請求項 4 に記載のファイル・フォーマット。

【請求項 6】

前記モジュラー・パーツは、
前記文書に関連付けられた脚注を含む脚注パーツ、
前記文書に関連付けられた文末脚注を含む文末脚注パーツ、
前記文書に関連付けられたフッタデータを含むフッタ・パーツ、
前記文書に関連付けられたヘッダデータを含むヘッダ・パーツ、および
前記文書に関連付けられた書誌の少なくとも 1 つの書誌データと基礎データを含む書誌パーツ

のうちの少なくとも 1 つをさらに含むことを特徴とする請求項 4 に記載のファイル・フォーマット。

【請求項 7】

前記モジュラー・パーツは、
前記文書に関連付けられたスプレッドシート・オブジェクトを定義するデータを収容するスプレッドシート・パーツ、
前記文書に関連付けられたオブジェクトを収容する埋込みオブジェクト・パーツ、
前記文書に関連付けられたフォントを定義するデータを収容するフォント・パーツ、
前記文書に関連付けられたオブジェクトを収容する描画オブジェクト・パーツであって、前記描画オブジェクトは、描画プラットフォームを使用して構築される、描画オブジェクト・パーツ、
前記文書のユーザが電子メールを介して文書を送信した場所である封筒データを収容するメール封筒パーツ、
前記文書に関連付けられたコードを収容するコード・ファイル・パーツであって、外部リンクを介してアクセスすることができるコード・ファイル・パーツ、および
前記文書に関連付けられたハイパーリンクを含むハイパーリンク・パーツであって、1 つのユニフォーム・リソース・ロケータ (Uniform Resource Locator) を備えるハイパーリンク・パーツ
のうちの少なくとも 1 つをさらに含むことを特徴とする請求項 4 に記載のファイル・フォーマット。

【請求項 8】

少なくともいくつかの前記モジュラー・パーツは、コレクション・タイプで編成され、前記コレクション・タイプは、
前記コード・ファイル・パーツを含むコード・コレクション、
前記描画オブジェクト・パーツを含む画像コレクション、
前記ユーザ・データ・パーツを含むデータ・パーツ
前記埋込みオブジェクト・パーツを含む埋込みコレクション、
前記フォント・パーツを含むフォント・コレクション、および
コメント・パーツ、前記脚注パーツ、前記文末脚注パーツ、前記フッタ・パーツ、前記ヘッダ・パーツ、および前記書誌パーツのうち少なくとも 1 つを含むコメント・コレクション

のうちの少なくとも1つを含むことを特徴とする請求項7に記載のファイル・フォーマット。

【請求項9】

前記モジュラー・パーツに関連付けられた関係性タイプは、潜在的に有害なコード・ファイルを識別することができるコード・ファイル関係性と、ユーザ・データ関係性、ハイパーリンク関係性、コメント関係性、埋込みオブジェクト関係性、描画オブジェクト関係性、画像関係性、メール封筒関係性、文書プロパティ関係性、サムネイル関係性、用語集関係性、チャック関係性、およびスプレッドシート関係性、のうち少なくとも1つを備えることを特徴とする請求項3に記載のファイル・フォーマット。

【請求項10】

前記文書のコンテンツは、前記文書から抽出およびコピーされ、異なる文書で再利用されるコンテンツであることが可能であることを特徴とする請求項3に記載のファイル・フォーマット。

【請求項11】

各モジュラー・パーツは個別にロックされることが可能であり、それ以外のモジュラー・パーツはロックすることができる状態にあり、それによって、複数の編集者が、それぞれ同時に、前記ファイル・フォーマットの1つのモジュラー・パーツを編集することが可能であることを特徴とする請求項3に記載のファイル・フォーマット。

【請求項12】

前記モジュラー・パーツは、モジュラー・パーツが問い合わせされたときに、前記文書のコンテンツについてのセマンティクスを提供することができることを特徴とする請求項3に記載のファイル・フォーマット。

【請求項13】

前記ファイル・フォーマットは、前記文書内の各ページについてのサムネイルの高解像度のプレビューを提供することができることを特徴とする請求項3に記載のファイル・フォーマット。

【請求項14】

前記ファイル・フォーマットは、マークアップ言語フォーマットおよびバイナリ・フォーマットのうちの少なくとも1つにしたがって、フォーマットされることを特徴とする請求項1に記載のファイル・フォーマット。

【請求項15】

少なくとも1つのモジュラー・パーツは、前記少なくとも1つのモジュラー・パーツのコンテンツ・フォーマットを宣言するコンテンツ・タイプを含み、それによって前記コンテンツ・タイプについてのクエリが、クエリされる前記少なくとも1つのモジュラー・パーツの前記コンテンツ・フォーマットを識別することを特徴とする請求項1に記載のファイル・フォーマット。

【請求項16】

宣言された前記コンテンツ・フォーマットが正しくないときに、前記ワードプロセッシング・アプリケーションは、前記少なくとも1つのモジュラー・パーツを開くことに失敗することを特徴とする請求項15に記載のファイル・フォーマット。

【請求項17】

ファイル・フォーマットで文書を表す方法であって、前記文書に関連付けられたモジュラー・パーツは前記ファイル・フォーマット内に書き込まれた各パーツを含み、前記方法は、

前記ファイル・フォーマットの第1のモジュラー・パーツであって、前記文書のプロパティ用のガイドとして動作可能な文書パーツである、第1のモジュラー・パーツを書き込むこと、

論理的には前記第1のモジュラー・パーツとは別であるが、1つまたは複数の関係性によって前記第1のモジュラー・パーツに関連付けられたモジュラー・パーツに関連付けられている関係性タイプに関して、前記文書をクエリすること、

前記第 1 のモジュラー・パーツとは別の前記ファイル・フォーマットの第 2 のモジュラー・パーツを書き込むこと、および

前記第 1 のモジュラー・パーツと前記第 2 のモジュラー・パーツとの間に関係性を確立すること

を備え、

各モジュラー・パーツは、他のモジュラー・パーツが問い合わせされずに、個別に問い合わせされることができることを特徴とする方法。

【請求項 18】

関係性タイプに関連付けられた他のモジュラー・パーツを書き込み、共有される前記他のモジュラー・パーツが 1 回のみ書き込まれること、および

書き込まれた前記他のモジュラー・パーツとの関係性を確立すること

をさらに備えることを特徴とする請求項 17 に記載の方法。

【請求項 19】

前記関係性タイプに関連付けられた前記他のモジュラー・パーツを書き込むことは、

a) 前記文書に関連付けられたデータを調べること、

b) 調べた前記データが、モジュラー・パーツに書き込まれたか否かを判定すること、

c) 調べた前記データがモジュラー・パーツに書き込まれていなかったときに、前記モジュラー・パーツに書き込み、調べた前記データを含めること、

d) 前記文書に関連付けられた他のデータを、調べたか否かを判定すること、

e) 前記他のデータを調べていないという判定に回答して、前記文書に関連付けられた前記他のデータを調べること、および

b) から e) まで繰り返すこと

を備えることを特徴とする請求項 18 に記載の方法。

【請求項 20】

モジュラー・パーツを備えるファイル・フォーマットで、コンピュータに文書を表すようにさせる制御論理を有するコンピュータ・プログラムであって、前記ファイル・フォーマットの前記モジュラー・パーツは、前記ファイル・フォーマット内に書き込まれた各パーツを含み、前記制御論理は、コンピュータに

前記ファイル・フォーマットの、前記文書のプロパティ用のガイドとして動作可能な文書パーツを書き込むこと、

論理的に個別であるが、1 つまたは複数の関係性によって関連付けられた、モジュラー・パーツに関連付けられた関係性タイプについて前記文書をクエリすること、

前記文書パーツとは別の前記ファイル・フォーマットの前記モジュラー・パーツを書き込むこと、および

書き込まれた前記文書パーツと前記モジュラー・パーツとの間に関係性を確立することを実行させることを特徴とするコンピュータ・プログラム。